

平成 30 年度 吹田市肺がん検診・結核検診実施状況について

1 肺がん検診実施状況

(1) 年次別肺がん検診受診者数及び受診率

【受診率の算出方法】
 全国、大阪府と比較をするため、国が示す方法に基づき算出。算出対象は 40～69 歳。
 ・対象者数＝国勢調査において報告された人数 －（就業者＋農林水産従事者数）
 ※本資料は平成 27 年国勢調査をもとに対象者を算出。
 ・受診率＝当該年度の受診者数÷対象者数

【初回受診者について】
 前年度の受診がある場合は非初回、受診がない場合は初回に分類される。

表 1-1 平成 27 年度～平成 30 年度（4～10 月）肺がん検診実績（40～69 歳）

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度(4～10月)		
	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計
対象者数	52,030			52,030			52,030			52,030		
受診者数	10,784	1,095	11,879	11,138	1,670	12,808	10,928	1,670	12,598	5,207	864	6,071
受診率	20.7%	2.1%	22.8%	21.4%	3.2%	24.6%	21.0%	3.2%	24.2%			
初回受診者数	4,657	581	5,238	5,072	1,178	6,250	4,882	563	5,445	2,419	453	2,872
初回の割合	43.2%	53.1%	44.1%	45.5%	70.5%	48.8%	44.7%	33.7%	43.2%	46.5%	52.4%	47.3%

参考：平成 27 年度受診率比較（40～69 歳）

	全国	大阪府	吹田市
受診率	11.2%	14.1%	22.8%

表 1-2 平成 27 年度～平成 30 年度（4～10 月）肺がん検診実績（40 歳以上全数）

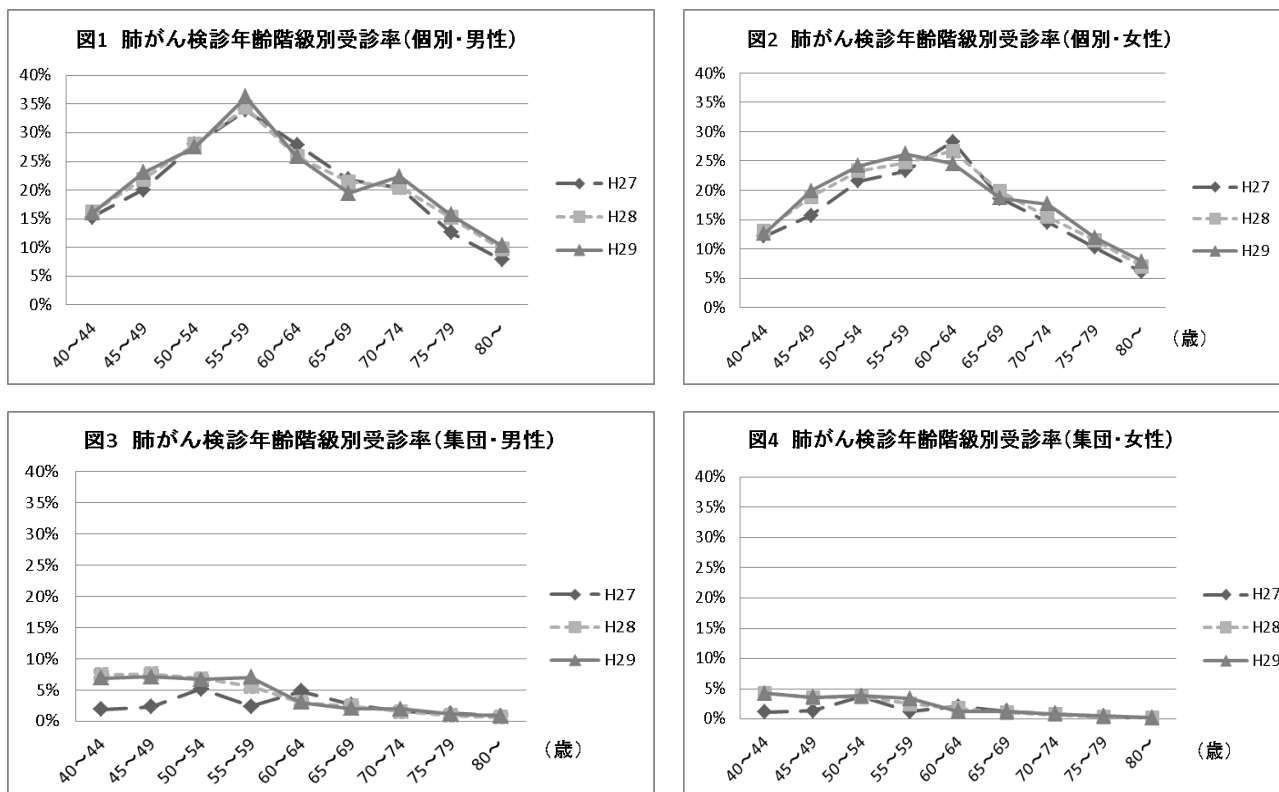
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度(4～10月)		
	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計
対象者数	103,523			103,523			103,523			103,523		
受診者数	16,524	1,477	18,001	17,504	1,986	19,490	17,850	2,080	19,930	9,356	1,139	10,495
受診率	16.0%	1.4%	17.4%	16.9%	1.9%	18.8%	17.2%	2.0%	19.3%			
初回受診者数	6,938	679	7,617	7,785	1,256	9,041	7,584	1,145	8,729	4,378	522	4,900
初回の割合	42.0%	46.0%	42.3%	44.5%	63.2%	46.4%	42.5%	55.0%	43.8%	46.8%	45.8%	46.7%

<考察>

- ・平成 29 年度の 40～69 歳の受診率は個別検診・集団検診を合わせると 24.2%であった。平成 28 年度と比較すると、ほぼ横ばいの状況である。

- 平成 29 年度の受診者に占める初回受診者の割合は、集団検診において平成 28 年度と比較すると初回受診者割合が低下している。これは、平成 28 年度よりがん検診の受診勧奨はがきの対象年齢を拡大したことによる効果で、初年度は初回受診者が多かったが次年度は継続受診しているためと考えられる。

(2) 肺がん検診男女別、個別・集団検診別年齢階級別受診率 (受診率は p. 1 の算出方法に基づく)



< 考察 >

- 受診率を算出するにあたって、対象者は就業者数を除いた数(農林水産業従事者は含む)となるため、対象者が少なくなる 40 歳代・50 歳代では受診率が高く、対象者が多くなる 60 歳代以上ではやや受診率が低くなっていた。
- 平成 28、29 年度の受診率は、40 歳～50 歳の若い世代での増加がみられた。

(3) 要精検者について

表2 年次別肺がん検診要精検者内訳

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度(4~10月)			許容値	
	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計	個別	集団	合計		
要精検者数	583	36	619	750	77	827	773	73	846	500	46	546		
要精検率	3.5%	2.4%	3.4%	4.3%	3.9%	4.2%	4.3%	3.5%	4.2%	5.3%	4.0%	5.2%	3.0%以下	
精検受診者数	540	26	566	701	76	777	713	70	783	397	38	435		
精検受診率	92.6%	72.2%	91.4%	93.5%	98.7%	94.0%	92.2%	95.9%	92.6%	79.4%	82.6%	79.7%	70.0%以上	
精検結果内訳	異常なし	213	6	219	287	35	322	295	23	318	158	15	173	
	がん	6	2	8	20	1	21	20	1	21	10	1	11	
	がん疑い	5	0	5	7	0	7	4	2	6	11	0	11	
	GGO	7	0	7	15	0	15	7	1	8	2	0	2	
	転移性肺腫瘍	0	0	0	2	0	2	3	0	3	2	0	2	
	その他	309	18	327	370	40	410	384	43	427	214	22	236	
	未受診/未把握	43	10	53	49	1	50	60	3	63	103	8	111	
がん発見率	0.04%	0.14%	0.04%	0.11%	0.05%	0.11%	0.11%	0.05%	0.11%	0.11%	0.09%	0.10%	0.03%以上	
陽性反応適中度	1.03%	5.56%	1.29%	2.67%	1.30%	2.54%	2.59%	1.37%	2.48%	2.00%	2.17%	2.01%	1.3%以上	

平成31年2月8日時点

<考察>

- ・平成29年度は精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度は許容値を満たしている。
- ・平成28年度から要精検率が4%を超えており、特に平成30年度(4~10月)の個別検診では要精検率が5%を超える結果となっている。

参考: 平成27年度参考値(全年齢)

	全国	大阪府	吹田市
要精検率	1.9%	2.3%	3.4%
精検受診率	82.8%	87.8%	91.4%
がん発見率	0.06%	0.08%	0.04%
陽性反応的中度	3.5%	3.3%	1.29%

2 肺がん検診読影状況について

(注) 表の見方

判定の意味

- b : 異常所見を認めない
- c : 異常所見を認めるが、精査を必要としない
- d : 異常所見を認めるが、肺がん以外の疾患が考えられる。
- e : 肺がんの疑い

一次読影で、d・e判定：要精検。 b・c判定：二次読影へ。

二次読影で、b・c判定：最終判定をb・c判定として一次医療機関に結果返却。

d・e判定は読影委員会（三次読影）へ。

※読影委員会は、済生会吹田病院・済生会千里病院・吹田市民病院の3病院以外で撮影されたケースのうち、二次読影でd・e判定のケースのみ読影する。

平成28年度読影内訳

平成29年度読影内訳

平成30年度（4～10月）読影内訳

平成28年度読影内訳				平成29年度読影内訳				平成30年度（4～10月）読影内訳						
判定	人数	判定	人数	判定	人数	判定	人数	判定	人数	判定	人数	判定	人数	
b	13,909	b	14,307	b	7,234	c	3,169	c	1,877	c	1,877	c	1,877	
c	3,169	c	3,224	c	1,877	d	158	d	77	d	77	d	77	
d	158	d	113	d	77	e	268	e	168	e	168	e	168	
e	268	e	206	e	168	B	118	B	134	B	73	B	73	
						C	93	C	122	C	68	C	68	
						D	7	D	15	D	7	D	7	
						E	274	E	376	E	223	E	223	
《最終X線判定》				《最終X線判定》				《最終X線判定》						
B	13,137	75.1%	B	13,265	74.3%	B	6,653	71.1%	C	2,203	23.5%	C	2,203	23.5%
C	3,624	20.7%	C	3,816	21.4%	C	2,203	23.5%	D	92	1.0%	D	92	1.0%
D	180	1.0%	D	149	0.8%	D	92	1.0%	E	408	4.4%	E	408	4.4%
E	563	3.2%	E	620	3.5%	E	408	4.4%						

表3 肺がん個別検診 判定別精密検査結果

	平成28年度						平成29年度						平成30年度(4～10月)						
	X線最終判定		読影委員会(再掲)		喀痰		X線最終判定		読影委員会(再掲)		喀痰		X線最終判定		読影委員会(再掲)		喀痰		
	D	E	D	E	C	D	D	E	D	E	C	D	D	E	D	E	C	D	
要精検者数	180	563	7	274	5	2	149	620	15	376	61	4	92	408	7	223	34	2	
要精検率		3.22%		1.57%		0.16%		3.47%		2.11%		0.31%		4.36%		2.38%			
精検受診者数	165	532	6	261	3	1	129	582	12	353	57	2	65	336	5	200	28	2	
精検受診率		94.5%		95.3%		50.0%		93.9%		93.9%		50.0%		82.4%		89.7%			
精検結果内訳	異常なし	48	237	0	133	2	0	47	248	2	156	23	1	17	142	0	79	6	0
	がん	1	19	0	5	0	0	1	19	0	9	2	0	1	8	0	5	2	0
	がん疑い	1	6	0	1	0	0	0	4	0	3	0	0	4	8	0	6	2	0
	GGO	1	13	0	7	1	0	1	6	0	3	1	0	1	1	1	0	0	0
	転移性肺腫瘍	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0
	その他	114	255	6	115	0	1	79	303	10	182	29	1	41	176	4	110	18	2
未受診/未把握	15	31	1	13	2	1	20	38	3	23	4	2	27	72	2	23	6	0	
陽性反応適中度		3.37%		1.8%				3.06%		2.4%				1.96%		2.24%			

(参考) 喀痰細胞診の指導区分

- A: 材料不適、再検査
 - B: 現在異常を認めない、次回定期検査
 - C: 再塗抹または6か月以内の再検査
 - D: 直ちに精密検査
 - E: 直ちに精密検査
- ※D、Eの違いは細胞所見の違いによる。

平成31年2月8日時点

<考察>

- ・一次読影で b、c 判定であった者のうち、二次読影を実施することで D、E 判定に転じている。平成 29 年度では、そのうち E 判定から 9 名ものがんが見つかり、複数の読影医の確認によりがんの見落としを防ぐことができているといえる。
- ・読影委員会の実施により、d、e 判定であった者が、最終 B、C 判定となっており、精密検査による身体的・精神的及び経済的負担を被る人数を最小限に抑えることに寄与しているといえる。
- ・平成 29 年度は、D 判定からのがんの発見が 1 名（早期がん）、平成 30 年度ではがん及びがん疑いの発見が 5 名（早期がん 1 名、がん疑い 4 名）あった。

3 肺がんであったケースの詳細

表 4 平成 29 年度 肺がん個別検診 肺がん及びがん疑いであった者
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

表 5 平成 30 年度（4～10 月） 肺がん個別検診 肺がん及びがん疑いであった者
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

表 6 平成 29 年度肺がん個別検診 受診歴別臨床病期分類

	IA	IB	IIA	IIB	IIIA	IIIB	IV	不明
初回	2	2	0	0	0	0	3	0
非初回	3	3	1	1	1	0	2	2

<考察>

- ・平成 30 年度は早期がん（I 期）の発見が 10 名（うち初回 4 名、非初回 6 名）であった。ステージ IV で発見されたがんは 5 名（初回 3 名、非初回 2 名）であった。

4 結核検診実施状況

表7 年次別 結核検診受診状況

		平成27年度	平成28年	平成29年	平成30年度 (4月～10月)
対象者数		67,462			
受診者数		19,651	19,956	19,213	9,506
受診率		29.1%	29.6%	28.5%	14.1%
要 精 検 者 数	結核疑い	58	64	43	25
	肺腫瘍性病変	407	413	448	244
	合計	465	477	491	269
要精検者率		2.4%	2.4%	2.6%	2.8%
精検受診者数		402	406	414	167
精検受診率		86.5%	85.1%	84.3%	62.1%
精 検 結 果 内 訳	異常なし	153	146	152	50
	活動性結核	2	0	1	1 ※照会中
	がん	6	15	10	5
	転移性肺腫瘍	6	2	1	1
	がん疑い	3	1	6	0
	その他	232	242	244	110
未受診/未把握		63	71	77	102
がん発見率		0.03%	0.08%	0.05%	0.05%
陽性反応的中度		1.29%	3.14%	2.04%	1.86%

平成31年1月18日時点

<考察>

結核は平成29、30年度（4～10月）に1名発見されている。

表8 平成29年度 結核検診 肺がん及び肺がん疑いであった者
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

表9 平成30年度（4～10月） 結核検診 肺がん及び肺がん疑いであった者
個人情報保護の観点により、詳細な情報は非公開とします。

<考察>

- ・平成29年度は早期がん（Ⅰ期）の発見が5名であった。ステージⅣで発見されたがんは2名であった。